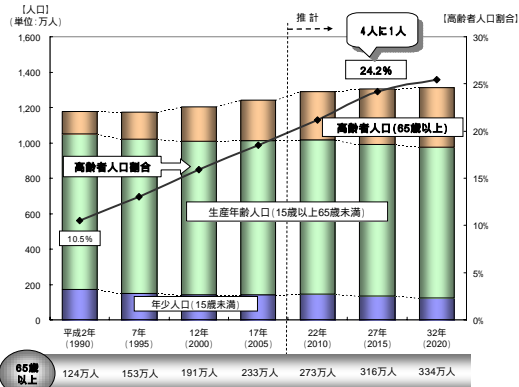


「団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会」最終報告書（概要①） ～高齢者が主体となって豊かな地域社会をつくる～

超高齢社会の到来

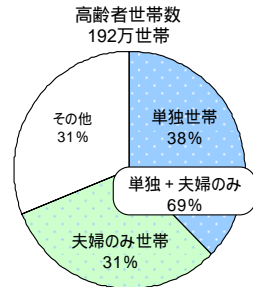
平成27年（2015年）の姿

都民の4人に1人が65歳以上の高齢者に



資料：総務省「国勢調査（平成2～17年）」、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口」（平成19年5月推計）より

高齢世帯の約7割が、「単身」または「夫婦のみ」の世帯に

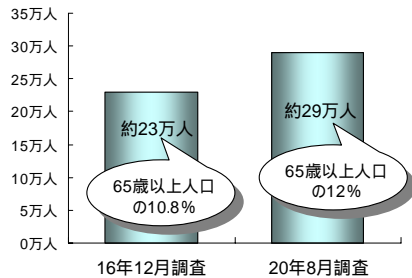


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（2009（平成21）年12月推計）より

地域社会の変化

支援を必要とする高齢者の増加

何らかの認知症の症状がある高齢者（認知症高齢者日常生活自立度 以上）は、都内に約29万人

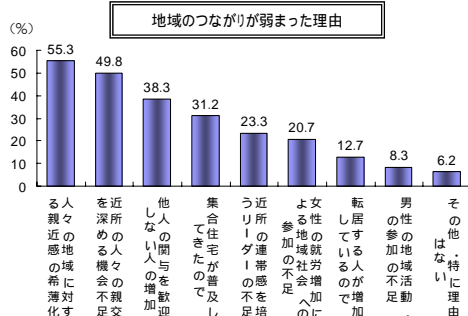


資料：東京都「認知症高齢者自立度分布調査」より

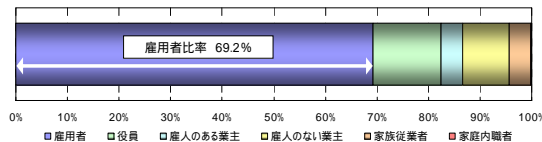
東京都では、就業している団塊の世代やその周辺世代の約7割がサラリーマン世帯である。サラリーマンは職住が分離しているため、地域との結びつきが弱くなりやすい傾向がある。

地域の支え合い機能の低下

地域のつながりが弱くなっていると考えている人が約3割で、人々の地域に対する親近感の希薄化などが主要因に挙げられている。



資料：内閣府「平成19年版国民生活白書」より

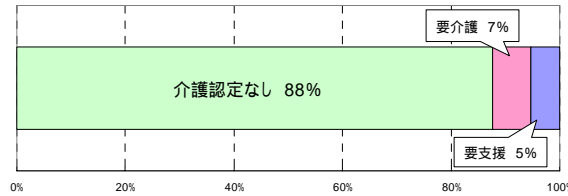


資料：総務省「平成17年国勢調査」より
55～59歳（平成21年では59～63歳に相当）の雇用者比率

地域活性化の可能性

団塊の世代や元気な高齢者の存在

65歳以上の8割を超える方が介護保険の介護を要しない高齢者



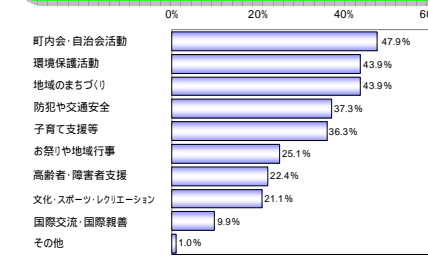
資料：東京都「在宅高齢者実態調査（平成19年度）」より

団塊の世代の多くが東京在住

都道府県	団塊世代人口	比率 (%)
東京都	62万人	9.1%
神奈川県	45万人	6.7%
千葉県	34万人	5.0%
埼玉県	39万人	5.8%
大阪府	49万人	7.2%
全国	678万人	100%

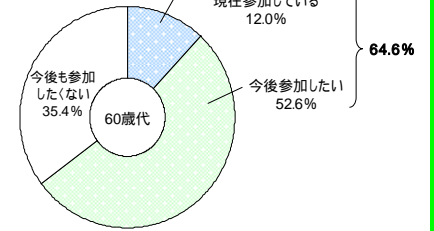
資料：総務省「平成17年国勢調査」より

地域の大きな期待



資料：東京都「平成20年度第3回インターネット都政モニターアンケート」より

地域活動への高い参加意欲

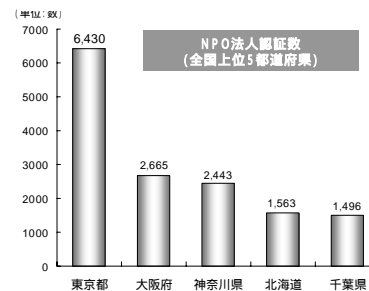


資料：内閣府「平成16年度国民生活白書」より

豊かな地域資源の存在

東京には、NPO法人、ボランティア団体、老人クラブ、町会・自治会など、多様な地域資源が地域で活発に活動している。

東京はNPO法人の認証数が全国一であり、全体の約16%を占めている。



資料：内閣府HP「特定非営利促進活動法に基づき（申請受理数及び認証数、不認証数等＜1998/12/01～2009/12/31）」より



シルバー人材センターやコミュニティビジネスなど、就業やビジネス手法の活用を通じて、地域づくりに貢献する活動も行われている。

